

主催 京都大学 国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター

共催 国立国語研究所 共同研究プロジェクト

「多様な言語資源に基づく日本語非母語話者の言語運用の応用的研究」

第30回多文化交流フォーラム

講演会

学習者コーパスの構築と活用

国立国語研究所 教授/一橋大学大学院言語社会研究科 連携教授

石黒圭

講演概要

学習者がどのように日本語を習得するのか、そのプロセスを実証的に研究したい。また、そうしたコーパス研究をとおして、大学院生ならば、修士論文や博士論文を執筆したい、日本語教師ならば、自分が今教えている教育現場での実践に役立てたい。そう思う方は少なくないでしょう。

近年、学習者コーパスの構築が進み、多様な学習者コーパスにアクセスできる便利な時代です。しかし、学習者コーパスの種類がありすぎるがために、自分の目指す研究にはどのような学習者コーパスが合っているのか、その選択に悩んだり、既存の学習者コーパスを使って実際にどのように研究したらよいのか、その方法に悩んだりする方もきっといらっしゃるはずです。

今回の講演では、講演者が国立国語研究所で、話し言葉と書き言葉、二つの学習者縦断コーパスを構築してきた経験を踏まえ、学習者コーパスの研究の活用法、その限界と可能性について、一緒に考えたいと思います。

開催日

2024年2月15日(木)16:00～18:00

開催形態

Zoomによるオンライン開催

参加申し込み方法【参加費無料】

- 下記URLまたは右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/5QGuMZb9no1ZmDcs6>

- 先着300名、申し込み期限は2024年2月9日(金)です。Zoom情報は開催3日前までにメールでお送りします。

問い合わせ先

京都大学国際高等教育院 大和祐子
yamato.yuko.7h[a]kyoto-u.ac.jp

*[a]は@に変換してください。



京都大学

KYOTO UNIVERSITY